

研究課題名	脳卒中（脳出血・脳梗塞）を発症した患者における抗血小板薬・抗凝固薬の内服状況についての検討（調査）
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属：循環器科 氏名：梅本朋幸
研究期間	平成 26年 7月 ～ 平成 27年 6月
研究の意義・目的	抗凝固薬としてこれまで使用されてきたワーファリンに代わり、NOAC（新規経口抗凝固薬）と称される新しい抗凝固薬が認可され臨床で使用され始めている。実臨床での成績や合併症については不明な点もある。また、抗血小板薬と併用された場合の安全性や有効性についても報告は少ない。今回の研究では、脳卒中を発症する患者の抗凝固・抗血小板薬の内服状況について現状、および、ワーファリンとNOACで合併症にどのような違いが存在しているのか把握する。さらに、休薬・中止による影響をみることで、今後の個々の症例での対応に生かすことができる。
研究の方法 (対象期間含む)	対象：平成25年1月から平成27年5月の間に、脳卒中（脳出血および脳梗塞）を発症した患者で、抗凝固薬・抗血小板薬を内服していた症例（発症前に一時的に休薬されていた症例も含む）。 予定症例数：120～150症例 研究方法：対象期間中に入院加療となった脳卒中患者の背景を後ろ向きに観察する。
個人情報の取扱い	研究実施に係る試料等を取扱う際は、被験者の個人情報とは無関係の番号を付して管理し、被験者の秘密保護に十分配慮する。研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにする。また、研究の目的以外に、研究で得られた被験者の試料等を使用しない。
問合せ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属：循環器科 氏名：梅本朋幸 TEL：0422-32-3111（代表）6813（事務局内線） FAX：0422-32-3525